

～ 地域別ワークショップ情報誌 ～

まちづくり 瓦版

夜市・湯野・
戸田小学校区
第 2 回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

“4つの視点”からまちづくりを考えるワークショップ^o 開かれる

- 9月6日(木)、午後 6:30 から、戸田公民館において、周南市都市計画課、都市整備課主催の第2回地域別市民ワークショップ（参加者が対等の立場で、意見交換や作業を行う方式の懇談会）が開かれました。
- ワークショップの目的は、周南市の都市計画の基本的な内容、及び緑地の保全や公園等の計画づくりのための「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声を計画に反映させることです。
- 地区内から 13 人が出席し、市の司会進行のもと、3 班にわかれて、「環境保全（生態保全）、レクリエーション、防災、景観形成」の 4 つ視点から、地域の具体的なまちづくりのための方策などを提案していただきました。
- 約 2 時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。
- 安全で美しく、遊び・学べ、そして生き物と共存していくまちづくりのためにはどうしたらよいか、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

作業プログラム

時間	内容	時間
18:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約 20 分
18:50	「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約 40 分
19:00	ステップ 1「よいところ、わるいところを探す」 よいところ、わるいところマップをつくる	
19:30	ステップ 2「こんなふうになりたいことを考える」 こんなふうになりたいねマップをつくり整備 メニュー整理表にする	約 40 分
20:00	「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
20:10	ステップ 3「発表」 成果を発表します	約 20 分
20:30	まとめ	約 10 分
20:40	おつかれさまでした。解散。	

これからの湯野、戸田、夜市は
川などの地域資源を活用
し、安心・安全のまちへ

（各班に共通する意見です）



1 班の主な意見

よいところ

- ・黄金仏がある。蛭が自宅から見れる
- ・川にはあひる・こい・白鷺がいる
- ・昇仙峰のながめ



わるいところ

- ・生活排水が流れている
- ・国道の横断が危険。地下道が怖い
- ・植林が多く、歩いてもうるおいがない(かしのき、くぬぎのき、しいのき)
- ・湯野小より上は道路に街灯がない
- ・親水性がなく川辺の散歩もままならない
- ・昔はメダカなど水生生物がいた
- ・夜市川の改修をする(防災)(水害対策)
- ・戸田地域の道路が狭い
- ・県道を早期に完成させる(災害時)
- ・桑原の海へ遊びに行く迄の道があぶない
- ・荒廃農地が多い
- ・神社仏閣の復活(荒れている)
- ・市街化区域を拡大(乱開発のけん制)

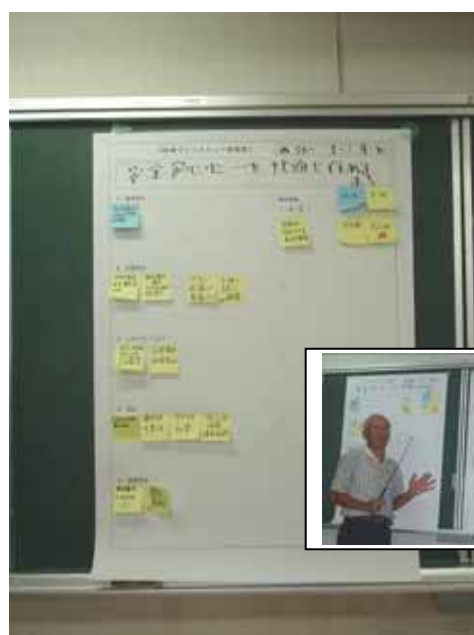


まちづくりのキーワード・テーマ

～安全・安心に一生快適に住めるまち～

施策メニュー

- ・小・中学校、神社を中心とし、安心して過ごせる空間がほしい
- ・老人の生きがい対策
- ・休耕地、荒廃地の復活
- ・水辺の復活(芝生・散歩道木陰)
- ・神社の森の復活。くぬぎの木を植えて昆虫を育てる
- ・生物に配慮した河川整備。浸水対策
- ・若山城跡への登山道の整備をする
- ・公園管理(地域参加)
- ・腐葉土のできる森の造成
- ・竹林対策
- ・観音岳のながめ(展望台として整備)
- ・災害時に対応できる道路整備



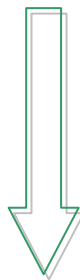
2 班の主な意見

よいところ

- ・夜市の根菜がよい
- ・農業団地(畑作)が2ヶ所(上畑)
- ・ナイターができる地域スポーツの拠点
- ・昔は往還松があった(西徳山総合グラウンド)
- ・温泉・夜市川・ホテル
- ・温泉病院がある
- ・いい湯がでる

わるいところ

- ・竹がはびこり道が通れない
- ・山がいたんでいる
- ・魚道がなく、魚が遡上できない(夜市川)
- ・道が狭い(消防車など進入が難しい)
- ・道が狭い(旧山陽道)
- ・温泉の湯量が少ない
- ・温泉のアピールがたりない

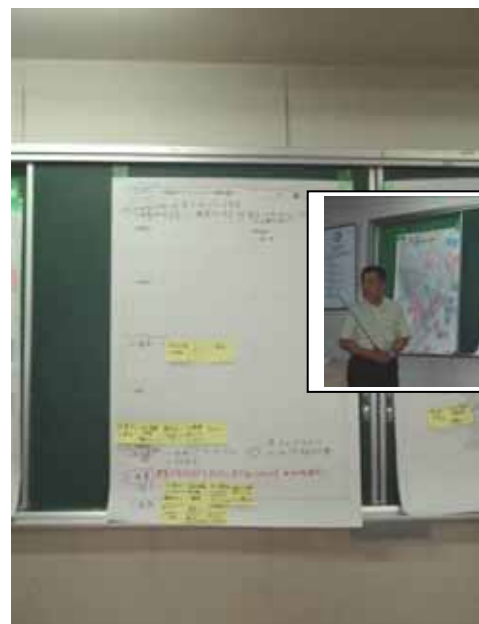


まちづくりのキーワード・テーマ

地域の持つ資源をネットワークする 特産物を見直して産業化する
～ 金もうけがないと人は動かない(大分県の大山村)～

施策メニュー

- ・よい所がばらばらでは機能しない
- ・多くの特産物から利益となるものをピックアップする
- ・農業の売れるものを見だし専門化に頼む→地域雇用へ
- ・温泉とゴボウをつなげる
- ・観光と物産(自然薯・根さい)をどう結びつけるか
- ・坊ちゃん公園の整備
- ・旧山陽道の整備(景観、レクリエーション)
- ・宿泊施設はアピールを
- ・温泉には川がつきもの、川の整備
- ・看板をつくる
- ・「往還松」の復活



3 班の主な意見

よいところ

- ・桜がきれい
- ・サンサンロードの桜
- ・蛍の宝庫(夜市川)
- ・レクリエーションの場
- ・西山グラウンド
- ・おいしい湧き水
- ・残したい風景、町並み
- ・棚田の景観
- ・プライベートビーチ
- ・海岸の景色がよい



わるいところ

- ・側溝にふたがない(戸田赤道線)
- ・街灯がない。暗くて防犯上危ない
- ・里山の荒廃。竹がはびこる。休耕田が多い
- ・不法投棄(ゴミ、空き缶)が多い
- ・水質・洪水が心配(夜市川)
- ・消防車の入れない地区がある
- ・道がわるい、暗い。道路沿いの護岸が危険
- ・高齢化→里山の手入れができなくなっている
- ・いのししなどが町におりてくる
- ・レクリエーションの場がない(湯野)
- ・テニスコートが使えない
- ・人口の減少

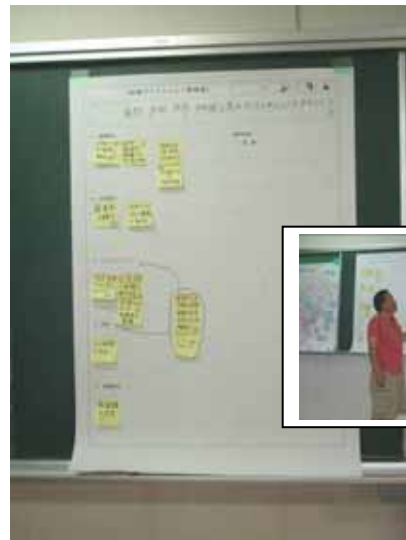


まちづくりのキーワード・テーマ

湯野、戸田、夜市、戸田駅を流れる川(夜市川)を中心とした町づくり

施策メニュー

- ・「里山再生機構」を作って里山を再生
- ・活用とあわせた保全の仕組みづくり
- ・竹の製品づくり→竹林の保全
- ・貸農園の検討
- ・河川整備を進める
- ・天狗伝説を活用したウォークラリーなど
- ・テニスコート・トイレをきれいに
- ・道路改良。バス乗り入れが出来るよう
- ・回遊できるように駐車場を整備
- ・サンサンロードを延伸
- ・西部グランドアクセスの改善
- ・ミニ開発の防止



“瓦版”いかがでしたでしょうか。第2回ワークショップとともに、もう一度ふり返っていただければ幸いです。
“瓦版”について、お気づきの点などがございましたら、また都市計画や緑に関する事などまちづくり全般に関わるご質問や提案がございましたら、都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。
まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかねばなりません。今後とも皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

